



かえで通信

ご挨拶

新緑が美しい今日この頃です。暖かな春の風がとても気持ち良いですね。新社会人や新入生の皆さんは、新しい環境に慣れてきたでしょうか？既に始まっておりますが、10連休のゴールデンウィークで、心身ともにリフレッシュしていただきたいと思っております。

ところで、皆さまのゴールデンウィークは、どのようなご予定でしょうか？

私は、地域の行事、市民ゴルフ大会の参加、家族と八木山登山やBBQ、そして4月の統一地方選で戦い抜かれた同志の皆さまを尋ねるなど計画しております。今回のゴールデンウィークのテーマは「身近を楽しむ！」で、充実した連休にしたいと思っております。

身近なところに、私たちが知らない魅力がいっぱいあります。私たちの各務原市にも魅力がいっぱいあります。この魅力を移住・定住に繋げる政策を提案していきたいと思っております。

さて、先ほども述べましたように先月は、統一地方選が行われました。各務原市においては、県議会議員選挙がありましたが無投票となり、県議会選挙はこれで2回連続無投票となりました。無投票となるには色々要因があるかと思っておりますが、まずは地方議員である私たちが政治、県政、市政に関心を持っていただけるよう日々取り組んでいかなければなりません。

地方議会（議員）の必要性が問われている昨今、議員の職務は、自治会等の地域行事への参加、神事、地域要望の対応などやって当然のことであり、議員として具体的に何に取り組んでいくのか、どのようなビジョンを持っているのかが大切です。

議員になることを目標にするのではなく、議員として何をするのか、このことを常に念頭に置きたいと思っております。

それでは、今月も「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら！」に向け、邁進して参ります。皆さま、宜しくお願い致します！

各務原市議会議員 大竹 大輔

3月議会のチェックポイント！

平成31年2月25日から3月26日まで、30日間の会期にて、平成31年第1回各務原市議会定例会（3月議会）が開催されました。新年度の羅針盤となる各予算案等55案件が上程され、全て議案が可決、同意されました。新庁舎建設や幼保無償化事業など予算規模の大きな事業もありますが、今回は予算額の大小を問わず、私が注目した議案等をご報告させていただきます。

子ども食堂運営補助事業 60,000円

- ・食事支援等が必要となる子ども等を対象とした子ども食堂を開設・運営する団体に対し、補助金を交付し、子どもの居場所など拠点整備を図る。

ポイント：子ども食堂は、地域の大人が子どもに無料または低額で食事を提供し、子どもが安心して過ごすことのできる居場所です。子どものみではなく、その親や地域の高齢者、障がい者も利用でき、子どもの居場所とともに、地域住民の交流拠点づくりとなる事業です。

合葬墓運営管理事業 2,297,000円

- ・墓地承継に不安を抱く方が増加するなど、社会状況の変化に対応するため、令和元年年10月より合葬式墓地の供用を開始する。

ポイント：令和元年10月から供用が開始される本市の合葬墓は、随時受付や生前予約が可能になるなど市民皆さまの声が具現化されました。

生涯現役促進地域連携事業 20,000,000円

- ・市内企業の人手不足の改善と、高齢者が年齢に関わりなく活躍し続けられる生涯現役社会の実現を目指すため立ち上げた「各務原市生涯現役促進協議会」の中で、多様な雇用形態の導入促進や新たに高齢者専門人材バンクの設立、各種イベントを展開することで、高齢者の就労マッチングを推進する。